



▲ 谷島校長 北嶋訓子^{のりこ}さん 大山真衣^{まゐ}さん 石塚直子^{なほこ}さん 為我井教諭^{たみがい} 市村ゆかり^{ゆかり}さん 市長 田畑慎吾^{たはへ}さん

全国高校俳句選手権大会で準優勝 県立下館第一高等学校の選手が市長に報告

松山市で8月20～21日に開催された第8回俳句甲子園で、準優勝した下館第一高等学校の選手が、9月13日に市長に報告に訪れました。同大会は36チームのトーナメント戦で、決勝戦は開成高等学校（東京）と対戦。惜しくも3対2で敗れましたが、5年連続出場でこれまではベスト4が最高の成績でしたが準優勝は初。主将の田畑慎吾さんは、「決勝戦ま

でいけるとは思わなかった。優勝は出来なかったが、悔しさよりも喜びのほうが大きい。これからも続けたい」と意欲を述べました。指導にあたった為我井^{たみがい}教諭は「作品の中心では負けてない」と選手を励ました。市長からは「よく頑張ってくれた。筑西市の名を全国に広めてくれてありがとう」と健闘を称えました。

映画の野外上映会が復活

サマーフェスティバル 2005



協和の杜公園で8月28日に協和商工会、関城商工会及び明野商工会主催による親子のふれあいイベントが開かれました。午後3時から各商工会の模擬店が出る中、スイカや梨の早食い競争、○×ゲーム、協和中学校吹奏楽団の演奏などがあり、午後7時からは映画『ワンピース』が上映されました。野外映画は子どもたちには初めての経験。興奮気味に上映を待ちわびていましたが、始まると熱心に見入っていました。

第26回『梨の里版画展』

会員の力作、約100点を展示



市コミュニティプラザで、9月17日から5日間開催、連日、版画ファンなど大勢の人で賑わいました。同版画展は『梨の木版画会』『せせらぎ版画会』『ゆうき版画会』『紫明同人会』『みつわ会』の5団体が参加。篠崎法嗣^{のりじ}会長は、「版画の魅力を楽しんでもらって嬉しい。興味のある人はぜひ入会してください」と語る。同版画展は関本公民館で開催されてきましたが、筑西市となった今年からは同プラザでの開催となりました。

■特集展示 『青木繁 海の幸 100年』

10月10日(祝)まで
 月曜休館 ※10/10は開館
 プリヂストーン美術館〔中央区 TEL03(5777)8600〕
 入場料=一般 800円 シニア(65歳以上) 600円
 高大生 500円 中学生以下無料

■つくばエクスプレス開通記念展 『十河雅典の世界展』

10月8日(土)～11月6日(日)まで
 月曜休館 ※10/10は開館、10/11は休館
 茨城県つくば美術館〔つくば市 TEL029(856)3711〕
 入場料=一般 380円 高大生 280円
 小中生 180円 毎週土曜日は高校生以下無料

■X-COLOR / グラフィティ in Japan

12月4日(日)まで
 月曜休館 ※10/10は開館、10/11は休館
 水戸芸術館〔水戸市 TEL029(227)8111〕

入場料=一般 800円 中学生以下・65歳以上無料
 会場=現代美術ギャラリー 水戸市中心市街地

■爆笑LIVEバトル'05秋

10月30日(日)①午後1時 ②午後4時開演
 真岡市民会館〔真岡市 TEL0285(83)7731〕
 出演=アンジャッシュ 飛び石連休 ほか
 入場料=全席指定 2,500円

■サントペテルブルク交響楽団

12月18日(日) 午後3時開演
 つくばノバホール〔つくば市 TEL029(852)5881〕
 入場料=S席 8,000円 A席 7,000円 B席 6,000円

■狂言～万作の会

2月3日(金) 午後6時30分開演
 栃木県総合文化センター〔宇都宮市 TEL028(643)1010〕
 出演=野村万作 野村萬斎 ほか
 入場料=S席 4,000円 A席 3,000円(学生 2,000円)

わが家のアイドル

1歳のお誕生おめでとう



たなか よしと
田中 美登くん
10月4日生(辻)



のべ もえか
野部 萌絵佳ちゃん
10月4日生(五所宮)



もおか はく
眞岡 覇空くん
10月5日生(小栗)



えだ ひろと
枝 大登くん
10月7日生(蓮沼)



かたね れん
片根 蓮くん
10月9日生(女方)



たぐち ゆう
田口 優ちゃん
10月9日生(市野辺)



やこう あき
矢古宇 亜季ちゃん
10月9日生(西方)



あらい たくみ
新井 拓海くん
10月10日生(森添島)



ひろせ かなと
廣瀬 奏知くん
10月11日生(野殿)



ごとう みさき
後藤 美咲ちゃん
10月13日生(小川)



もとはし まさと
本橋 成音くん
10月15日生(下岡崎)



やまぐち まい
山口 舞ちゃん
10月15日生(市野辺)



こうだ たくみ
國府田 拓生くん
10月16日生(森添島)



ほりえ さら
堀江 咲来ちゃん
10月16日生(玉戸)



さとう だいご
佐藤 大悟くん
10月18日生(知行)



もり たいよう
森 太陽くん
10月18日生(伊佐山)



みやた いぶき
宮田 唯楓くん
10月19日生(門井)



えのきど けいご
榎戸 慧胡くん
10月23日生(樋口)



はまだ かいと
濱田 海聖くん
10月23日生(柳)



きたしま
北島 あずみちゃん
10月25日生(小栗)



たかしま みさと
高島 実里ちゃん
10月25日生(二木成)



にへい ゆうき
仁平 夕稀くん
10月25日生(中上野)



おおやま ゆうた
大山 祐汰くん
10月26日生(市野辺)



ふるかわ ゆな
古川 夢菜ちゃん
10月26日生(玉戸)



いけだ ねね
池田 音々ちゃん
10月30日生(本城町)



こもり あかね
小森 紅音ちゃん
10月31日生(小川)

平成16年12月生まれのお子さんの写真を募集しています。写真の裏面に、住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、電話番号、保護者氏名を明記のうえ、10月31日(月)までに市広報広聴課へ。応募多数の場合は抽選。

6年生が描くわたしの夢、このまちの未来。

鳥羽小学校



真田 信政

日本を代表するバドミントン選手になり、世界中で試合をしたい。みんなで遊べる遊び場をたくさん作りたいな。



山口 智美

日本中のみんなに「おいしい」と言われるパン屋になりたい。お年寄りが笑顔で安心して暮らせるまちにしたい。



鈴木 智大

ヤクルトに入団し、古田選手のようなプロ野球選手になりたい。みんなが優しい気持ちでいられるまちにしたい。



古橋 舞也

一緒にいると楽しいなと思われような保育士になりたい。みんなが楽しく暮らせる、住みよいまちを築きたい。



比企 徹

玉田誠選手のようなレーサーになって、 MotoGPで優勝したいな。安全で住み心地のよいまちを作りたい。



竹田 美沙希

優しく、いつも笑顔の保育士になりたい。地域のふれあいを大切にして、明るく仲良しのまちを作りたいな。



塚越 健介

プロ野球選手になって、首位打者のタイトルを取りたい。交通事故や事件がなく、安全で住みやすいまちにしたい。



結束 純奈

介護福祉士になり、お年寄りのお手伝いをしてあげたいな。あいさつ運動を広げ、みんな笑顔の筑西市にしたい。



高塚 亮平

海外でも活躍できるようなプロサッカー選手になりたい。誰もがきちんとあいさつができるまちになるといいな。



菊池 美香

保育士になり、小さい子と友達みたいに遊んであげたいな。ごみを捨てる人のいない、きれいなまちを作りたい。

五所小学校

日ごろ暮らしの中で思っていることを投稿してください。匿名可。市広報広聴課へ。

おたより

防災訓練に参加して

轟音が響く。避難誘導の最中、戦闘機が上空を旋回している。周囲の緊張が高まり、訓練は実践さながらの様相を呈してきた。周りには、消防車や自衛隊のトラック等が所狭しと並んでいる。会場では、児童や婦人防火クラブの消火活動、3機のヘリコプターによる消火訓練が行われ、参加者の目を釘付けにしていた。さらに、はしご車やレスキュー車を使った救助等、様々な被害を想定した訓練が、緊迫した空気のなか、行われていった。地球温暖化の影響が、今夏、アメリカでは史上最大のハリケーンが、日本でも列島を包み込むほどの大型台風が大きな爪跡を残していった。危機管理の重要性が叫ばれながら、災害が発生すると対応の遅れ等、様々な問題が浮上してくる。関係機関の対策の見直しはもろろん、今まさに住民一人ひとりが防災に目を向ける必要がある。筑西市での大規模な防災訓練は、多くの人の防災意識を高めるために、とても有意義であった。(匿名)

夏の思い出は 満開のひまわり畑

8月27日から9月4日まで、宮山ふるさとふれあい公園周辺のひまわりの里で、『ひまわりフェスティバル』を開催しました。会場一面に咲く80万本のひまわりが来場者を歓迎し、県内外から訪れた大勢の人が、黄色いじゅうたんを楽しみました。



ひと



ほり え 堀江
とく ぞう 徳三さん (玉戸)

**下館北中サッカー部を全国大会ベスト8に
「大切なのは、夢に向かって努力することです」**

「下館南中から北中に転任して、今年で3年目。今の3年生は、1年生の時に出場したジュニア大会で県のベスト8になったんです。良いメンバーが揃っていたので、うまく成長していき、全国大会出場のチャンスもある、と

思っていました。練習は基礎練習の繰り返し。実戦を重ね結果を残すうちに成長し、自信もついて強くなってくれました」と語るのは、下館北中学校サッカー部監督を務め、この夏、同部を全国中学校サッカー大会ベスト8に導いた堀江徳三さん(41歳)。学校では、

1年1組の担任と学年主任を兼務する社会科の先生です。自身も中学時代にサッカーに打ち込み、12年前に下妻東部中のサッカー部監督に就任以来、赴任した各中学校でサッカー部を指導してきました。「ここまで来るには、保護者や後援会をはじめとする地域のみならず、学校のバックアップが非常に大きかったですね。特に保護者のみなさんには感謝しています。自分は子どもたちのために良い環境を設定してあげるだけ。毎年新チームになると、子どもたちに目標を決めさせるんです。すると子どもたちは、目標達成のためには自分が何をすればいいか考える。大切なのは、夢や目標に向かって努力することだと思います」。